

★★★★★ 教 養 講 座 ★★★★★

講座番号

2

AIってなんだ？

活用事例から学ぶ AI の仕組み

- 定員・回数:60 人・2 回
- 時間・場所:午後 2:00～3:30・研修室
- 費用:受講料 400 円
- 講師:岐阜大学 工学部 教授 加藤邦人

AIは私たちの生活をどう変えるの？怖い？便利？一本講座は、そんな素朴な疑問に答える2回シリーズです。生成AIの仕組みをわかりやすく解説し、ChatGPTなど実際の生成AIを動かしながら文章作成・調べもの・相談など日常で役立つ活用例も紹介します。実際に体験しながら、生成AIと上手に付き合うヒントを解説します。

10/4(日)	生成 AI って何？ －仕組みをやさしく解説－ 「生成 AI」「ChatGPT」ってよく聞くけど、なに？という疑問からスタート。AI がどうやって文章を作るのか、なにが便利なのかを、専門知識なしでわかるようにお伝えします。後半は実際に生成 AI でなにができるのかを実演します。
11/1(日)	生成 AI を使いこなそう －日常での活用と体験－ 文章を書く、調べる、アイデアを出すー生成 AI は日常のさまざまな場面で役立ちます。具体的な活用例を紹介した後、スマホやタブレットで実際に試す体験タイムも用意します。便利な使い方と、付き合う上での注意点を紹介します。

講座番号

3

脳と心

－感情を働かせる仕事:感情労働の科学－

- 定員・回数:60 人・3 回
- 時間・場所:午前 10:00～11:30・研修室
- 費用:受講料 600 円
- 講師:名古屋大学大学院 情報学研究科 教授 大平英樹

私たちは仕事の中で、知識や技術だけでなく、感情も使っています。接客、医療、介護、教育、相談、営業などの人と関わる仕事では、「怒ってはいけない」「不安を見せてはいけない」「いつも親切でなければならない」といった感情のルールがあります。本講座では、このような「感情労働」を、心理学・脳科学・社会問題の三つの視点から理解し、働く人と利用する人が互いに尊重される社会のあり方を考えます。

1/23(土)	感情労働とは何か 感情労働とは、接客業の笑顔や介護職の温かい態度など、仕事上の必要に合せて自分の感情や表出を調整することです。これは社会において重要ですが、労働者の負担にもなります。現代社会における感情労働の問題を考えます。
2/13(土)	感情労働と心身の健康 カスタマー・ハラスメントで生じるような過剰な感情労働は、抑うつやバーンアウトなどのリスクにつながります。感情労働が心身の健康に与える影響とそのメカニズムを、心理学と脳科学の観点から解説します。
2/27(土)	感情労働の問題と対策 個人と社会が健全であるには、感情労働を適切なレベルやあり方に制御することが必要です。カスタマー・ハラスメントを題材として、個人・職場・社会の各レベルでどのような対策が求められるかを考えます。

講座番号

4

気象学入門

- 定員・回数:60 人・2 回
- 時間・場所:午前 10:00～11:30・研修室
- 費用:受講料 400 円
- 講師:気象予報士 寺尾直樹

毎日の生活に欠かせない気象情報。ニュース情報番組でおなじみの講師が、季節の気象トピックスを取り上げながら、暮らしに寄り添った気象の話題を解説します。

11/8(日)	天気図で先読み！この冬の気候と最新トレンド なぜ冬は寒波がやってくるのか？天気図の仕組みを紐解きながら、日本の冬の気象メカニズムを学びます。後半では気象庁の最新発表データを分析し、今冬の寒さや雪のトピックスをどこよりも分かりやすく紹介。天気「なぜ」が分かり、冬の予報が楽しくなります。
2/ 7(日)	気象キャスターよもやま話 テレビの画面越しでは見えない気象キャスターの舞台裏へご案内！予報士のリアルな1日や、24年間のキャリアで培った秘話を楽しく語ります。大雨や大雪時の緊迫した現場エピソードなど、ここだけの話が満載です。講座の最後には、誰もが気になる「桜の開花予想」を最新データとともに先取り解説します。

尾張北部の風土と歴史

— 中世・戦国 —

- 定員・回数: 60人・3回
- 時間・場所: 午後2:00～3:30・研修室
- 費用: 受講料 600円
- 講師: 愛知大学 文学部 教授 山田邦明

岩倉市・一宮市（北部と東部）・江南市・大口町・扶桑町・犬山市と連なる、尾張北部の一帯は、水田耕作も可能な豊かな地域で、独自の歴史を刻んできました。この講座ではまず、木曽川の支流が幾筋も流れるこの地域の地形と風土に注目し、続いて平安時代後期から戦国時代に至る、500年に及ぶ時代の地域の歴史を跡づけます。支配者の動向や地域で展開した戦いのことが中心になりますが、この時代を生きた一般の人々にも目を向けていきます。

1/18(月)	葉栗郡・丹羽郡の地形と郷村 かつての尾張国と美濃国の境には「尾張川」「木曽川」が流れ、この大河から分かれた幾筋もの川が尾張北部に流れ込んでいました。そのためここは水田耕作が可能な、人々の生活に適した豊かな地域だったといえます。葉栗郡・丹羽郡一帯の地形をとらえながら、郷村や荘園のひろがりについて概説します。
2/ 8(月)	岩倉織田氏とその時代 室町時代、尾張の守護所は下津(稲沢市)にあり、織田氏が統治していましたが、やがて織田氏は岩倉と清洲の両家に分かれ、岩倉の織田氏は100年近くにわたって尾張北部を支配しました。岩倉織田氏の歴史を跡づけながら、曼陀羅寺(江南市)の文書をもとに、この時代の地域の人々のありようにもふれます。
3/ 1(月)	天下分け目の戦いと地域の人々 岩倉や犬山の織田氏を滅ぼして尾張を統一した織田信長は、やがて天下に号令し、羽柴秀吉や徳川家康によって列島は統一されますが、この過程において、尾張北部は「天下分け目の戦い」の舞台になりました。「小牧・長久手の戦い」や「関ヶ原の戦い」におけるこの地域の状況と、人々の対応について跡づけます。

東洋のルネサンス 宋代の社会と文化

- 定員・回数: 60人・3回
- 時間・場所: 午後2:00～3:30・研修室
- 費用: 受講料 600円
- 講師: 愛知学院大学 文学部 教授 松下憲一

宋代は王朝としては遊牧国家(遼・金・西夏)におかれていましたが、経済・文化においては世界最先端を走っていました。この時期につくられた衣食住や年中行事をはじめとする生活様式が現在の中国社会の原型ともなっています。本講座では、宋代の社会と文化を中心に、宋代とはいかなる時代かを考えていきます。

11/ 7(土)	唐宋変革 中国には大きな時代の転換点がありますが、唐と宋の間にもあります。第1回は唐と宋の間でどのような変化が起きたのかを見ていきます。
11/21(土)	北宋の首都開封の生活 「清明上河図」という有名な絵画は北宋の首都開封を描いたものとされています。第2回はこの絵画から北宋の人々の生活を垣間見ましょう。
12/ 5(土)	宋代の宗教 宋代には僧侶を通じた日本との交流もありました。また南宋の朱熹があらたな儒教である朱子学を大成しました。第3回は宋代の宗教について見ていきます。

日本の寺院建築のかたちを 読み解く

●定員・回数:60人・3回
●時間・場所:午後2:00～3:30・研修室
●費用:受講料 600円
●講師:名城大学 理工学部 建築学科 准教授 米澤貴紀

本講座では、基本的な建築様式が出そろった中世から、仏教がより人々の身近な存在となった近世までを中心に、日本の寺院建築のかたちの特徴と、それが生まれた理由・背景との関わりを学びます。建物の姿からデザインの意図を読み解き、建物の間取りと使われ方の関係を見ていきます。知識を身につけることにより、寺院を訪れた時、その建物の姿・かたちの理由を、歴史と共に思い描けるようになることを目指します。

1/23(土)	中・近世仏堂のかたちの見かた ー永保寺開山堂、鶴林寺本堂などー 中世以降の仏堂には、奈良時代以来の形式と、鎌倉時代に中国から伝来した形式、そしてそれらを取り合わせた姿とするものがあります。日本の建物の基本的な様式を解説し、それらをもとにして仏堂がどのようにデザインされたかを見ていきます。また、仏堂を見る際の特徴的な部材と意匠についても紹介します。
2/13(土)	仏堂のかたちの変化と使われ方 ー西本願寺御影堂、曼陀羅寺正堂などー 仏堂の間取りは、その使われ方と密接に関わっています。日本の仏堂の間取りの変遷を、各時代の信仰と結びつけて説明します。また、宗派ごとの特徴的な間取りについても紹介します。加えて、建物の壁や扉の配置や種類の工夫によって、使い方に合った内部空間を創り出し、演出していることも見ていきます。
3/ 6(土)	近世仏堂の特徴と民衆の参詣 ー成田山新勝寺三重塔、粉河寺本堂などー 近世の堂塔は、それまでの時代の建物よりも装飾的な姿をしています。その理由の一つに民衆の寺院参詣があります。参拝者を意識した工夫は建物のどこに、どのように見られるのか、また参拝者はそれをどのように楽しんだのか解説します。また、幕府による建物の規制が特徴的なかたちの仏堂を発生させたことも紹介します。

王朝の美意識 『源氏物語』 色彩の美

●定員・回数:60人・3回
●時間・場所:午後2:00～3:30・研修室
●費用:受講料 600円・資料代 300円
●講師:愛知文教大学 准教授 島山大二郎

『源氏物語』には、多彩な色の描写がみられます。中でも、配色の美を表す「かさね色目」は、王朝文化の代表的存在ともいえます。平安貴族は、色の組み合わせに四季折々の名前を付け、ファッションに取り入れていました。「かさね色目」の文化は、平安時代以降も発展し続けています。ぜひ色とりどりの世界に触れてみませんか。

2/10(水)	祝い・通年・冬のかさね色目 「かさね色目」の説明から始め、平安時代の文献を用いて祝いの場に用いる「かさね色目」や四季通用の「かさね色目」を紹介します。数々の「かさね色目」に触れ、色彩・配色の美を体感してみましょう。
2/24(水)	春のかさね色目 春の「かさね色目」を紹介し、その中から「桜がさね」を詳しく解説します。平安時代以降も「かさね色目」の文化が発展したことを説明します。江戸時代の「かさね色目」に関する本から、人々が広く「かさね色目」に親しんでいた様子を紹介します。
3/10(水)	夏・秋のかさね色目 夏の「かさね色目」を紹介し、夏生地による配色について解説します。また、『源氏物語』の描写をもとに、「かさね色目」にどのような意義があったのかを説明します。

新説・「斎王」

古典から探る3人の斎王物語

- 定員・回数:60人・3回
- 時間・場所:午後2:00~3:30・研修室
- 費用:受講料 600円
- 講師:いつきのみや歴史体験館 館長 榎村寛之

三重県多気郡明和町斎宮跡。伊勢神宮内宮から13km。こんなところに、9世紀の古代都市がありました。斎王の宮殿、斎宮です。この講座では斎宮に関わる有名な3人の斎王の物語を取り上げ、ベールに包まれてきた斎宮や斎王たちの姿を明らかにしていきます。

1/21(木)	斎宮のはじまりと万葉歌人・大来皇女（おおくのこうじょ） 「なんだぁこれは!」から、7世紀後半の初期斎宮の発掘は始まりました。万葉集の歌人であり、実在確実な最初の斎王・大来皇女は、父天武天皇の期待の星だったことが、発掘調査でもわかってきたのです。壬申の乱の余燼がくすぶる時代、大来は何をどう期待されたのでしょうか!?
2/18(木)	『伊勢物語』と斎宮 斎王は大人なの?子供なの? 『伊勢物語』の斎王は、斎宮を訪ねてきた男(在原業平?)に逢いに来しました。なぜ斎王が男と出会うのか、なぜ在原業平なのか。そもそも『伊勢物語』とはどういう物語なのか。平安時代の斎王と奈良時代以前の斎王のギャップから、マグマのように胎動する斎王の原風景に遡ります。
3/18(木)	『源氏物語』と斎宮 秋好中宮は地味な人どころじゃなかった 光源氏の恋人、六条御息所の娘の秋好中宮が元斎王だったことは、意外に知られていません。しかし彼女は源氏すら袖にする強い女性であり、斎宮の転換期に造形された魅力的な女性だったのです。母の六条御息所と合わせて、実在した斎王、「斎宮女御」徽子（よしこ）女王をはじめとしたモデルについての新しいお話もしましょう。

 知ればもっと好きになる
 大人のジャズ講座

- 定員・回数:50人・3回
- 時間・場所:午前10:00~11:30・スタジオ1
- 費用:受講料 600円
- 講師:ジャズベーシスト・名古屋音楽大学非常勤講師 日景 修

19世紀末頃にアメリカで生まれたと言われている音楽「ジャズ」。「興味はあるけど、どこから手をつければ良いのか分からない」という人も多いはず。なんとなく難しそうに感じてしまうジャズも、ポイントがわかればぐっと楽しめるようになります。プロのジャズミュージシャンが、わかりやすく解説していきます。

11/15(日)	ジャズ演奏の聴き方・楽しみ方 「ジャズは即興演奏」と言われていますが、いったいどうやって演奏されているのか、そして他の音楽とは何が違うのか。ジャズ演奏の仕組みをわかりやすく解説し、ジャズの聴き方・楽しみ方をご紹介します。
11/29(日)	聴かせたい名曲・お薦めの名盤の紹介 ジャズの歴史の中で生まれ、録音されてきた数々の名曲・名盤。その中から、ぜひ一度は聴いておきたい作品を厳選してご紹介します。今回は季節に合わせて、親しみやすいクリスマスソングも交えながら、ジャズの魅力に触れていただきます。
12/13(日)	知っておきたいミュージシャン ジャズの歴史には、数多くの偉大なミュージシャンが登場しました。今回はピアノにスポットを当て、バド・パウエル、ビル・エヴァンス、ハービー・ハンコックの3人を取り上げ、それぞれの演奏スタイルや代表作を聴き比べながら、3人がジャズの歴史に与えた影響や、その時代ごとのジャズの変化を解説します。